

平成 2 9 (2017) 年度

東京大学大学院農学生命科学研究科
修士課程学生募集要項

東京大学

平成 29(2017)年度
東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程
学生募集要項(一般選抜・社会人特別選抜)

教育研究上の目的

本研究科は、農学の基盤を形成する諸科学に関する世界水準の教育、研究を進め、人類が抱える食料や環境をめぐる多様な課題に取り組む専門性豊かな人材を養成することを目的とする。

求める学生像

- ・農学生命科学が抱える食料や環境をめぐる多様な課題に取り組む専門分野の学修を目指す人
- ・世界に通用する第一級の専門知識の習得及び研究能力の向上に熱意をもって取り組む人

1. 出願資格

【一般選抜】

以下(1)～(10)のいずれかの要件を満たす者

- (1) 大学を卒業した者及び平成 29(2017)年3月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 29(2017)年3月 31 日までに修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 29(2017)年3月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 29(2017)年3月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 29(2017)年3月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 昭和 28(1953)年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者
- (7) 学校教育法第 104 条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成 29(2017)年3月 31 日までに授与される見込みの者
- (8) 外国において、学校教育における 15 年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科において認めた者
- (9) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科において認めた者
- (10) 個別の入学資格審査をもって、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、平成 29(2017)年3月 31 日において 22 歳に達している者

注1)出願資格(6)に該当する者とは、旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者

及び卒業見込みの者を示す。

注2)出願資格(7)に該当する者とは、学位授与機構又は大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び授与される見込みの者を示す。

注3)出願資格(8)又は(9)により出願しようとする者は、平成 28(2016)年5月 24 日(火)までに本研究科事務部(7(1)ウ)に問い合わせること。

注4)①出願資格(10)に該当する者とは、出願資格の(1)から(9)に該当しない者のうち、4年制の大学に相当する教育施設の卒業生(修了者)等で、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者である。

②出願資格(10)で出願しようとする者は、出願前に個別の入学資格審査を行うので、平成 28(2016)年5月 24 日(火)までに本研究科事務部(7(1)ウ)に申し出て、その指示に従うこと。

③入学資格審査で大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者について出願を受け付け、受験を許可する。

【社会人特別選抜】

以下(1)～(10)のいずれかの要件を満たし、かつ出願時において、官公庁、学校、会社等に在職中であり、入学時以降においても在職の見込みである者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (6) 昭和 28(1953)年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者
- (7) 学校教育法第 104 条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (8) 外国において、学校教育における 15 年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科において認めた者
- (9) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科において認めた者
- (10) 個別の入学資格審査をもって、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、平成 29(2017)年3月 31 日において 22 歳に達している者

注1) 出願資格(6)に該当する者とは、旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者を示す。

注2) 出願資格(7)に該当する者とは、学位授与機構又は大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された

者及び授与される見込みの者を示す。

注3) 出願資格(8)又は(9)により出願しようとする者は、平成 28(2016)年5月 24 日(火)までに本研究科事務部(7(1)ウ)に問い合わせること。

注4) ①出願資格(10)に該当する者とは、出願資格の(1)から(9)に該当しない者のうち、4年制の大学に相当する教育施設の卒業者(修了者)等で、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者である。

②出願資格(10)で出願しようとする者は、出願前に個別の入学資格審査を行うので、平成 28(2016)年5月 24 日(火)までに本研究科事務部(7(1)ウ)に申し出て、その指示に従うこと。

③入学資格審査で大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者について出願を受け付け、受験を許可する。

注5) 生物材料科学専攻木造建築コースの受験資格は、上記資格を満たし、かつ本コースに関連する分野で2年以上の実務経験を有するものとする。

2. 選抜方法

(1) **【一般選抜】** 入学者の選抜は、筆記試験(一般教育科目・外国語・専門科目)、口述試験(応用生命化学及び応用生命工学専攻出願者を除く)、出身学校の学業成績及び提出書類等による。

【社会人特別選抜】 入学者の選抜は、筆記試験(外国語・専門科目)、口述試験(応用生命化学及び応用生命工学専攻出願者を除く)、出身学校の学業成績、事前に提出する研究計画及び提出書類等による。

(2) 外国人で、外国人出願者のための特別選抜を希望する者は、本研究科事務部(7(1)ウ)に問い合わせること。

3. 専攻別試験科目及び募集人員

専攻名	筆記試験科目				募集人員
	一般教育科目	外国語	専門科目	受験時 選択の 可・否	
生産・環境 生物学	生物学 数学 化学 物理学 のうち1科目	英語 (TOEFL -ITP)	1)栽培学 2)植物分子遺伝学 3)育種学 4)植物病理学 5)応用昆虫学 6)作物学 7)園芸学 8)昆虫遺伝・病理学 9)生物測定学 上記9科目の中から 2 科目を受験時に任意選択。	可	28名

応用生命 化学	化学のほか 数学 物理学 生物学 のうち1科目	英語 (TOEFL -ITP)	1)分析化学 2)生物化学 3)有機化学・天然物化学 4)微生物学 5)分子生物学 6)環境土壌学 7)植物栄養学・植物生理学 8)食品科学	可	34名
応用生命 工学	計2科目 ただし、応用 生命工学専攻 の生物情報工 学のみを志望 する者は、任 意の2科目を 選択することが できる。		上記8科目の中から 3 科目を受験時に任意選択。ただ し、応用生命工学専攻の生物情報工学のみを志望する 者は、上記8科目の中から受験時に任意選択した 1 科目 と 9)生命情報科学 の 2 科目によって代えることができる。		43名
森林科学		英語 (TOEFL -ITP)	1)森林経理学 2)造林学 3)森林政策学 4)森林水文学・砂防工学 5)森林利用学 6)森林植物学 7)森林動物学 8)森林風景計画学 上記8科目の中から 3 科目を選択。	否	20名
水圏生物 科学	生物学 化学 物理学 数学 のうち1科目	英語 (TOEFL -ITP)	1)漁業資源学 2)水産増養殖学 3)水圏生物利用化学 4)水生動物学 5)水産動物生理学 6)水圏生物環境学 7)水圏生命化学 8)水圏生態学 上記8科目の中から 2 科目を選択。	否	30名
農業・資源 経済学		英語 (TOEFL -ITP)	1)農業経営学 2)経済学 3)農業経済学 4)農政学 5)農業史 6)農村開発学 7)開発経済学 上記7科目の中から 3 科目を選択。	否	17名

生物・環境工学	数学 物理学 化学 生物学 のうち1科目	英語 (TOEFL -ITP)	1) 農地環境工学 2) 水利環境工学 3) 環境地水学 4) 生物環境工学 5) 生物機械工学 6) 生物プロセス工学 7) 生物環境情報工学 8) 生態調和工学 9) エコロジカル・セイフティー学 10) 放射線環境工学 上記10科目の中から 2 科目を選択。ただし、生態調和工学、エコロジカル・セイフティー学または放射線環境工学は、それぞれ、その専門分野を第1志望とする者のみ選択できる。	否	17名
生物材料科学	化学 数学 物理学 生物学 のうち2科目	英語 (TOEFL -ITP)	1) 木材物理学 2) 木質材料学 3) 森林化学 4) 木材化学 5) 高分子材料学 6) 製紙科学 7) 環境材料設計学 上記7科目の中から 2 科目を選択。ただし、第1志望とする専門分野に関する1科目を必ず含めること。	否	17名
生物材料科学 木造建築コース (社会人特別選抜)		英語 (TOEFL -ITP)	1) 建築学 2) 木材科学 上記2科目の中から 1 科目を選択。	否	若干名
農学国際		英語 (TOEFL -ITP)	1) 国際水産開発学 2) 国際動物資源科学 3) 国際植物資源科学 4) 国際植物材料科学 5) 国際森林環境学 6) 新機能植物開発学 7) 国際農業開発学 8) 国際環境経済学 9) 国際情報農学 上記9科目の中から第1志望とする専門分野の 1 科目と 10) 小論文(論理的思考力)	否	43名

生圏システム学	生物学 化学 物理学 数学 のうち1科目	英語 (TOEFL -ITP)	1)生圏システム学 2)小論文 上記の 2 科目を必修。	否	25名
応用動物科学	生物学のほか 化学 物理学 数学 のうち1科目 計2科目	英語 (TOEFL -ITP)	応用動物科学	否	19名

注1. TOEFL-ITPとは団体向けTOEFLプログラム。大学院入試試験場でTOEFL-ITP (LEVEL 1)の試験を行う。TOEFL-ITPは、Listening Comprehension、Structure and Written Expression及びReading Comprehensionから成る。

注2. 社会人特別選抜は、上表中の一般教育科目を課さない。

注3. 添付の「各専攻のお問い合わせ先」に記載されている各専攻ウェブサイトの情報も併せて参照すること。

- (1) 募集人員のうち若干名を社会人特別選抜により選抜する。
- (2) 試験の成績によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合もある。
- (3) 生物材料科学専攻木造建築コースは社会人特別選抜のみとする。

4. 試験期日及び場所(一般選抜・社会人特別選抜)

- (1) 筆記試験 平成28(2016)年8月17日(水) 一般教育科目(午後)
8月18日(木) 外国語(午前)
専門科目(午後)
- (2) 口述試験 平成28(2016)年8月26日(金)(水圏生物科学専攻を除く)
平成28(2016)年8月19日(金)(水圏生物科学専攻)
※応用生命化学及び応用生命工学専攻においては、口述試験は行わない。
- (3) 試験の場所、その他詳細は8月上旬に郵送する「受験者心得」による。

5. 合格者の発表及び入学手続(一般選抜・社会人特別選抜)

- (1) 合格者(入学許可内定者)の発表は、平成28(2016)年9月6日(火)午前10時東京大学農学部3号館学生サービスセンター内掲示板及び研究科ホームページ(<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/>)で行う。電話による問い合わせには応じない。
なお、出願者には「合格者受験番号リスト」を送付するので、出願者本人の宛て名を記入し、372円分の切手を貼った封筒を用意すること(7(2)エ参照)。
- (2) 入学許可通知は平成29(2017)年3月上旬本人宛に送付する。入学許可の通知を受けた者は、平成29(2017)年3月9日(木)から13日(月)[土、日を除く]の期間内に必要な入学手続(入学手続書類の提出及び入学料の納付)を行うこと。期間内に入学手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱う。

ので注意すること。

(3) 入学時に必要な経費(平成 29(2017)年度予定額)

(日本政府(文部科学省)奨学金留学生に対しては徴収しない。)

① 入学料 282,000 円(予定額)

② 授業料 前期分 267,900 円(年額 535,800 円)(予定額)

上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

6. 出願期間(一般選抜・社会人特別選抜)

平成 28(2016)年7月 12 日(火)から7月 15 日(金)まで

ただし、平成 28(2016)年7月 15 日(金)までの消印があり、かつ7月 20 日(水)までに到着したものまでを受け付ける。

7. 出願手続

(1) 願書受付(一般選抜・社会人特別選抜)

ア. 出願は郵送に限る。

イ. 郵送にあたっては、「提出書類等」を一括して本研究科所定の封筒に入れ、書留郵便とすること。

ウ. あて先 〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1

東京大学大学院農学生命科学研究科事務部(大学院学生担当)

電話 03-5841-5010

(2) 提出書類等

【一般選抜】

ア. **入学願書** 本研究科所定の様式を用いること。

イ. **成績証明書** 学部(教養課程(編入学した者は、編入前の成績証明書)を含む。)の成績を証明するもの。ただし、本学農学部を卒業した者及び平成 29(2017)年3月同学部卒業見込みの者は、提出する必要はない。

ウ. **写真2葉** 3カ月以内撮影の正面上半身脱帽のものを入学願書及び受験票の所定欄に貼ること。

エ. **返信用封筒2通** 出願者本人の宛名を記入し、372 円分の切手を貼ること。

オ. **検定料 30,000円**

銀行振込もしくはコンビニエンスストア又はクレジットカードでの払込に限る。いずれの場合においても、振込手数料又は払込手数料は出願者本人の負担となるので留意すること。

外国人出願者のうち、日本政府(文部科学省)奨学金留学生は、検定料は不要。ただし、本学に在学中(研究生を含む。)の者以外は、日本政府(文部科学省)奨学金留学生である旨の証明書を提出すること。

【銀行振込の場合】

所定の振込依頼書に必要事項を記入のうえ、最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行・郵便局不可)から振り込むこと(ATM、インターネット等での振り込みは行わないこと)。振込の際、振込金受取書(B票)及び振込金受付証明書(C票)を受け取り、振込金受付証明書(C票)を所定用紙に貼り付けて提出すること。振込金受取書(B票)は領収書なので大切に保管すること。

*ゆうちょ銀行・郵便局、ATM、インターネット等での振り込みでは、「振込金受付証明書」(C票)が発

行されないので利用しないこと。

【コンビニエンスストア又はクレジットカードでの払込の場合】

コンビニエンスストアは、セブン-イレブン、サークルK、サンクス、ローソン、ファミリーマート、ミニストップに限る。

実際の払込に関する操作手順や注意事項については、別紙「東京大学大学院農学生命科学研究科コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料払込方法」を参照のうえ払い込むこと。出願に必要な収納証明書等は大切に扱うこと。

- カ. **確認書（応用生命化学および応用生命工学専攻出願者のみ）1部** 本研究科所定の様式を用いること。
- キ. **志望理由書（農業・資源経済学専攻出願者のみ）7部（2000字以内、様式随意）** 問題意識・研究したいテーマなどを書いたもの。
- ク. **推薦状1通以上（厳封）（応用動物科学専攻出願者のみ）**

【社会人特別選抜】

- a. **上記（イ）及び（キ）を除いたもの。**
- b. **成績証明書** 学部（教養課程（編入学した者は、編入前の成績証明書）を含む。）の成績を証明するもの。
- c. **卒業証明書**
- d. **研究計画書** 入学後の研究計画をA4判 3,000～4,000字程度にまとめたもの。
- e. 上記のほかに、本人の論文・報告書等の別刷を参考資料として提出してもよい。

- (3) 外国人は、このほかに次の書類を提出すること。（一般選抜・社会人特別選抜）
出身大学の指導教員又はこれに準ずる者による日本語の学力を表す証明書
ただし、日本の大学を卒業した者についてはこれを免ずる。

8. 注意事項

- (1) 同一年度に本研究科内の一般選抜と社会人特別選抜の両方に出願することはできない。
- (2) 同一年度に本研究科内の2つ以上の専攻に出願することはできない。ただし、応用生命化学専攻出願者は応用生命工学専攻の専門分野を、応用生命工学専攻出願者は応用生命化学専攻の専門分野を、第2志望または第3志望とすることができる。
- (3) 提出期日までに所要の書類が完備しない願書は受理しない。なお、出願手続後は、書類の変更は認めず、また、検定料の払いもどしはしない。
- (4) 受験票及び受験者心得は、8月上旬に郵送する。8月11日（木）までに到着しない場合は、必ず本研究科事務部（7(1)ウ）に連絡し、受験に必要な指示を受けること。
- (5) 官公庁、学校、会社等に在職のまま入学を希望する者は、在学期間中学業に専念させる旨の勤務先の長（任命権者又はこれに準ずる者）の承諾書（様式任意）を入学手続の際に提出すること。
- (6) 障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は出願時に本研究科事務部（7(1)ウ）に申し出ること。
- (7) 外国人は、入学手続までに、「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」において大学院入学に支障のない在留資格を有すること。
- (8) 出願書類の交付は、平成28(2016)年7月15日（金）午後2時までとする。

- (9) 入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払いもどしはしない。
- (10) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係(学籍、修学等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
- (11) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。
- (12) 入学願書における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。

平成 28(2016)年5月

平成29(2017)年度東京大学大学院農学生命科学研究科
教員並びに専門分野一覧

願書の志望専門分野、志望指導教員名はこの「教員並びに専門分野一覧」により記入すること。

専攻	所属部局	教員氏名	職名	専門分野	備考
生産・環境生物学	農学生命科学研究科	未定	教授	作物生理学	
	〃	未定	准教授	〃	
	〃	根本圭介	教授	作物生態学・作物形態形成学	
	〃	未定	准教授	〃 ・ 〃	
	〃	柴田道夫	教授	園芸学	
	〃	未定	准教授	〃	
	〃	難波成任	教授	植物病理学	
	〃	山次康幸	准教授	〃	
	〃	嶋田 透	教授	昆虫遺伝学・昆虫病理学	
	〃	勝間 進	准教授	〃 ・ 〃	
	〃	井澤 毅	教授	育種学	
	〃	伊藤純一	准教授	〃	
	〃	岸野洋久	教授	生物測定学・統計遺伝学	
	〃	岩田洋佳	准教授	〃 ・ 〃	
	〃	石川幸男	教授	応用昆虫学・昆虫生理生態学	
	〃	松尾隆嗣	准教授	〃 ・ 〃	
	〃	堤 伸浩	教授	植物分子遺伝学	
	〃	有村慎一	准教授	〃	
	〃	二宮正士	教授	生産生態学	
	〃	河鱈 実之	教授	〃	
	〃	山岸順子	准教授	〃	
〃	米川智司	准教授	〃		
〃	安永円理子	准教授	〃		
〃	高田まゆら	准教授	〃		
〃	橋本光司	特任教授	植物医科学		
〃	市川和規	特任教授	〃		
アジア生物資源環境研究センター	高野哲夫	教授	耐性機能開発学		
〃	鴨下顕彦	准教授	地域資源評価学		
応用生命化学	農学生命科学研究科	篠崎和子	教授	植物分子生理学	
	〃	溝井順哉	講師	〃	
	〃	未定	教授	生物機能開発化学	
	〃	三坂 巧	准教授	〃	
	〃	未定	教授	生物有機化学	
	〃	作田庄平	准教授	〃	
	〃	渡邊秀典	教授	有機化学	
	〃	石神 健	准教授	〃	
	〃	浅見忠男	教授	生物制御化学	
	〃	中嶋正敏	准教授	〃	
	〃	藤原 徹	教授	植物栄養・肥料学	
	〃	神谷岳洋	准教授	〃	
	〃	妹尾啓史	教授	土壌圏科学	
	〃	大塚重人	准教授	〃	
	〃	東原和成	教授	生物化学	
	〃	舘川宏之	准教授	〃	
	〃	未定	教授	分析化学	
	〃	鈴木道生	講師	〃	
	〃	高橋直樹	教授	栄養化学	
	〃	未定	准教授	〃	
	〃	佐藤隆一郎	教授	食品生化学	
	〃	井上 順	准教授	〃	
	〃	未定	教授	食糧化学	
	〃	戸塚 護	准教授	〃	
	〃	田之倉 優	教授	食品生物構造学	
	〃	永田宏次	准教授	〃	
〃	佐藤隆一郎	特任教授	栄養・生命科学		
〃	岡田晋治	特任准教授	機能性食品ゲノミクス		
〃	朝倉富子	特任教授	味覚サイエンス		
〃	石丸喜朗	特任准教授	〃		
〃	未定	教授	放射線植物生理学		
〃	田野井慶太郎	准教授	〃		

専攻	所属部局	教員氏名	職名	専門分野	備考
応用生命化学	農学生命科学研究科	八村敏志	准教授	免疫制御	
	〃	小林彰子	准教授	食の安全・安心・健康領域	
	〃	千田和広	教授	動物細胞制御学	
	〃	高橋伸一郎	准教授	〃	
応用生命工学	農学生命科学研究科	清水謙多郎	教授	生物情報工学	
	〃	中村周吾	准教授	〃	
	〃	未定	教授	分子生命工学	
	〃	足立博之	准教授	〃	
	〃	正木春彦	教授	分子育種学	
	〃	日高真誠	准教授	〃	
	〃	大西康夫	教授	醗酵学	
	〃	勝山陽平	講師	〃	
	〃	伏信進矢	教授	酵素学	
	〃	未定	准教授	〃	
	〃	未定	教授	微生物学	
	〃	有岡 学	准教授	〃	
	〃	堀内裕之	教授	細胞遺伝学	
	〃	未定	准教授	〃	
	〃	石井正治	教授	応用微生物学	
	〃	未定	准教授	〃	
	〃	吉田 稔	教授	化学遺伝学	博士のみ担当
	〃	尾仲宏康	特任教授	微生物潜在機能探索	
	生物生産工学研究センター	野尻秀昭	教授	環境保全工学	
	〃	岡田憲典	准教授	〃	
〃	西山 真	教授	細胞機能工学		
〃	葛山智久	准教授	〃		
〃	未定	教授	植物機能工学		
〃	柳澤修一	准教授	〃		
〃	古園さおり	特任准教授	微生物機能代謝工学		
分子細胞生物学研究所	前田達哉	准教授	栄養・ストレスシグナル伝達(膜蛋白質解析)		
森林科学	農学生命科学研究科	白石則彦	教授	森林経理学, 森林理水及び砂防工学	
	〃	龍原 哲	准教授	森林経理学	
	〃	丹下 健	教授	造林学	
	〃	益守眞也	講師	〃	
	〃	永田 信	教授	林政学	
	〃	古井戸宏通	准教授	〃	
	〃	酒井秀夫	教授	森林利用学	
	〃	仁多見俊夫	准教授	〃	
	〃	福田健二	教授	森林植物学	
	〃	松下範久	准教授	〃	
	〃	富樫一巳	教授	森林動物学	
	〃	久保田耕平	准教授	〃	
	〃	下村彰男	教授	森林風致計画学	
	〃	鎌田直人	教授	森林圏生態学(森林昆虫生態学)	附属演習林
	〃	後藤 晋	准教授	〃(森林遺伝育種学)	〃
	〃	平尾聡秀	講師	〃(多様性生物学)	〃
	〃	山田利博	教授	森林生物機能学(樹病学)	〃
	〃	鴨田重裕	准教授	〃(森林代謝化学)	〃
	〃	楠本 大	講師	〃(樹病学)	〃
	〃	石橋整司	教授	森林圏生態社会学(森林経理学)	〃
	〃	蔵治光一郎	准教授	〃(森林水文学・砂防工学)	〃
	〃	安村直樹	講師	〃(林政学)	〃
	〃	尾張敏章	准教授	森林流域管理学(森林経営学)	〃
〃	廣嶋卓也	講師	〃(森林経理学)	〃	
〃	浅野友子	講師	〃(森林水文学・砂防工学)	〃	
アジア生物資源環境研究センター	小島克己	教授	アジア生物環境学(樹木生理学・熱帯造林学)		
〃	練春蘭	准教授	〃(森林分子生態学)		
〃	堀 繁	教授	〃(地域資源計画学)		

専攻	所属部局	教員氏名	職名	専門分野	備考
水圏生物科学	農学生命科学研究科	山川 卓	准教授	水産資源学	
	〃	良永知義	教授	魚病学	
	〃	伊藤直樹	准教授	〃	
	〃	金子豊二	教授	水族生理学	
	〃	大久保範聡	准教授	〃	
	〃	高橋一生	准教授	水圏生物環境学	
	〃	潮 秀樹	教授	水産化学	
	〃	山下倫明	教授	〃	
	〃	松永茂樹	教授	水圏天然物化学	
	〃	岡田 茂	准教授	〃	
	〃	浅川修一	教授	水圏生物工学	
	〃	岡本 仁	教授	〃	
	〃	木下滋晴	准教授	〃	
	〃	菊池 潔	准教授	水圏生物システム学	
	アジア生物資源環境研究センター	岩滝光儀	准教授	沿岸海洋環境学	
	大気海洋研究所	津田 敦	教授	プランクトン学	
	〃	齊藤宏明	准教授	〃	
	〃	白木原國雄	教授	水産資源解析学	修士のみ担当
	〃	平松一彦	准教授	〃	
	〃	渡邊良朗	教授	水産資源生物学	修士のみ担当
	〃	河村知彦	教授	〃	
	〃	北川貴士	准教授	〃	
〃	岩田容子	講師	〃		
〃	伊藤進一	教授	水産資源環境学		
〃	小松幸生	准教授	〃		
〃	伊藤幸彦	准教授	〃		
〃	木暮一啓	教授	海洋微生物学	修士のみ担当	
〃	濱崎恒二	准教授	〃		
〃	佐藤克文	教授	行動生態計測学		
〃	植松光夫	教授	海洋地球化学	修士のみ担当	
〃	井上広滋	教授	海洋分子生理学		
〃	小畑 元	准教授	海洋無機化学		
〃	木村伸吾	教授	海洋生物圏環境学		
〃	兵藤 晋	准教授	海洋生物生理学		
農業・資源経済学	農学生命科学研究科	木南 章	教授	農業経営学・農村計画学	
	〃	八木 洋憲	准教授	〃	
	〃	本間 正義	教授	経済学・開発政策論	
	〃	齋藤 勝宏	准教授	〃	
	〃	中嶋 康博	教授	農業経済学・食料資源経済学	
	〃	安藤 光義	教授	農政学・比較農業政策学	
	〃	松本 武祝	教授	農業史・農学史	
	〃	戸石 七生	講師	〃	
	〃	櫻井 武司	教授	農村開発学・国際農業発展論	
	〃	万木 孝雄	准教授	〃	
東洋文化研究所	池本 幸生	教授	開発経済学・汎アジア経済論		
生物・環境工学	農学生命科学研究科	塩沢 昌	教授	農地環境工学・農地保全学	
	〃	吉田修一郎	准教授	〃 ・農地管理工学	
	〃	久保成隆	教授	水利環境工学・水理学	
	〃	飯田俊彰	准教授	〃 ・水質水文学	
	〃	西村 拓	教授	環境地水学・土壌物理学	
	〃	富士原和宏	教授	生物環境工学・バイオエンジニアリング	
	〃	松田 怜	准教授	〃 ・施設園芸学	
	〃	芋生憲司	教授	生物機械工学・エネルギー工学	
	〃	海津 裕	准教授	〃 ・ロボット工学	
	〃	大下誠一	教授	生物プロセス工学・ポストハーベスト工学	
	〃	牧野義雄	准教授	〃 ・ 〃	
	〃	細井文樹	准教授	生物環境情報工学	
	〃	三中信宏	教授	エコロジカル・セイフティ学・生態系計測学	
	〃	平舘俊太郎	教授	〃 ・物質循環学	
	〃	米村正一郎	教授	〃 ・大気環境学	
	〃	八木一行	教授	〃 ・土壌環境学	
	〃	河鱒実之	教授	生態調和工学	
	〃	米川智司	准教授	〃	
〃	安永円理子	准教授	〃		
〃	二瓶直登	准教授	放射線環境工学		

専攻	所属部局	教員氏名	職名	専門分野	備考
生物材料科学	農学生命科学研究科	信田 聡	教授	木材物理学	
	〃	稲山正弘	教授	木質材料学	
	〃	青木謙治	講師	〃	
	〃	磯貝 明	教授	製紙科学	
	〃	齋藤継之	准教授	〃	
	〃	鮫島正浩	教授	森林化学	
	〃	五十嵐圭日子	准教授	〃	
	〃	松本雄二	教授	木材化学	
	〃	横山朝哉	准教授	〃	
	〃	岩田忠久	教授	高分子材料学	
	アジア生物資源環境研究センター	竹村彰夫	准教授	〃	
		井上雅文	教授	環境材料設計学	
農学国際	農学生命科学研究科	八木信行	准教授	国際水産開発学	
	〃	杉浦勝明	教授	国際動物資源科学	
	〃	松本安喜	准教授	〃	
	〃	小林和彦	教授	国際植物資源科学	
	〃	宮沢佳恵	准教授	〃	
	〃	佐藤雅俊	教授	国際植物材料科学	
	〃	斎藤幸恵	准教授	〃	
	〃	露木 聡	准教授	国際森林環境学	
	〃	山川 隆	教授	新機能植物開発学	
	〃	中西啓仁	講師	〃	
	〃	岡田謙介	教授	国際農業開発学	
	〃	鈴木宣弘	教授	国際環境経済学	
	〃	川島博之	准教授	〃	
	〃	溝口 勝	教授	国際情報農学	
	〃	荒木徹也	准教授	〃	
	〃	遠藤秀紀	教授	国際動物資源科学	
	〃	二宮正士	教授	国際情報農学	
〃	Marcy N.Wilder	准教授	国際水産開発学		
〃	Matthias Wissuwa	准教授	国際植物資源科学		
〃	久保智史	准教授	国際植物材料科学		
〃	梶本卓也	准教授	国際森林環境学		
〃	銭 小平	准教授	国際環境経済学		
〃	鍋谷浩志	教授	国際情報農学		
生圏システム学	農学生命科学研究科	宮下 直	教授	生物多様性科学	
	〃	瀧本 岳	准教授	〃	
	〃	吉田 薫	准教授	保全生態学	
	〃	大黒俊哉	教授	緑地創成学	
	〃	橋本 禅	准教授	〃	
	〃	井出雄二	教授	森圏管理学	受入れ予定なし
	〃	佐野光彦	教授	水域保全学	
	〃	岡本 研	准教授	〃	
	〃	山岸順子	准教授	耕地生圏生態学	
	〃	高田まゆら	准教授	〃	
	〃	菊池 潔	准教授	水圏生物システム学	
	〃	鎌田直人	教授	森林圏生態学	
	〃	後藤 晋	准教授	〃	
	〃	平尾聡秀	講師	〃	
	〃	山田利博	教授	森林生物機能学	
	〃	鴨田重裕	准教授	〃	
	〃	楠本 大	講師	〃	
	〃	石橋整司	教授	森林圏生態社会学	
	〃	蔵治光一郎	准教授	〃	
	〃	安村直樹	講師	〃	
	〃	尾張敏章	准教授	森林流域管理学	
	〃	廣嶋卓也	講師	〃	
	〃	浅野友子	講師	〃	
〃	勝木俊雄	准教授	生圏資源環境学(森圏管理学)		
〃	齊藤 修	客員准教授	〃 (緑地創成学)		
〃	松崎慎一郎	准教授	〃 (水域保全学)		
〃	山本勝利	教授	農村緑地生態学(緑地創成学)		
	(総合文化研究科)	吉田丈人	准教授	保全生態学	

専攻	所属部局	教員氏名	職名	専門分野	備考
応用動物科学	農学生命科学研究科	松本芳嗣	教授	原虫病免疫学	修士のみ担当
	〃	後藤康之	准教授	感染免疫学	
	〃	内藤邦彦	教授	生殖細胞科学	
	〃	杉浦幸二	准教授	生殖遺伝学	
	〃	千田和広	教授	腫瘍細胞生物学	
	〃	高橋伸一郎	准教授	分子内分泌学	
	〃	田中 智	准教授	幹細胞生物学	
	〃	武内ゆかり	准教授	動物行動医学	
	〃	村田幸久	准教授	薬理・毒性学	
	〃	前多敬一郎	教授	獣医繁殖育種学	
	〃	松田二子	准教授	獣医繁殖内分泌学	
	〃	九郎丸正道	教授	解剖学	
	〃	金井克晃	准教授	発生生物学	
	〃	西原真杉	教授	生理学	
	〃	山内啓太郎	准教授	体性幹細胞生理学・生殖生理学	
	〃	堀 正敏	准教授	薬理学	
	〃	桑原 正貴	教授	環境生理学	
	〃	久和 茂	教授	実験動物学	
〃	角田 茂	准教授	実験動物学・発生工学		
〃	芳賀 猛	准教授	感染制御学		
〃	関崎 勉	教授	食品病原微生物学		
〃	鈴木チセ	准教授	畜産物機能学		

平成 29(2017)年度東京大学大学院農学生命科学研究科 修士課程学生募集要項 補足説明

以下は、平成 29(2017)年度東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程学生募集要項を補足するものである。提出書類の作成及び受験にあたり必ず参照すること。

1. 出願資格について

- (1) 社会人特別選抜による入学者は、入学後も在職していることが必要である。入学後に離職予定の者は、一般選抜に出願すること。(次の場合は、社会人特別選抜の対象とはしない：入学後に休職する場合、アルバイトや非常勤として雇用されている場合、フリーランスとして働く場合、転職予定で入学後の職が確定していない場合など。)
- (2) その他出願資格について、不明な点がある場合は事前に大学院学生担当まで問い合わせること。

2. 出願書類提出上の注意

- (1) 入学願書について
 - ①一般選抜と社会人特別選抜は様式が異なるので、注意すること。
 - ②入学願書については、裏面の履歴事項も含めて※以外のすべての欄を記入すること。
 - ③志望専門分野及び志望指導教員名は、「教員および専門分野一覧」を参照のうえ**必ず第3志望まで**、専門分野と教員名の両方を記入すること。同じ専門分野の別の教員を第2、第3志望として記入してもよい。なお、どうしても第2、第3志望がない場合は、該当欄に「なし」と記入すること。

ただし、生産・環境生物学専攻、応用生命化学専攻または応用生命工学専攻を志望する者は、第1～第3志望欄に、異なる専門分野の教員を記入すること。なお、どうしても第2、第3志望がない場合は、該当欄に「なし」と記入すること。
 - ④一般教育科目・専門科目欄に選択する科目名を必ず記入すること（一般教育科目を実施しない専攻は記入不要）。未記入の場合は、出願書類不備として取り扱う。なお、受験時に専門科目を選択することが可能な専攻（生産・環境生物学、応用生命化学および応用生命工学専攻）を志望する場合は、試験科目欄の「専門科目」欄は空欄でもよい。
 - ⑤書類受信場所欄は、現住所以外への送付を希望する場合のみ記入すること。
- (2) 受験票について
 - ①受験票の志望専攻・志望専門分野・一般教育科目・専門科目欄は、必ず入学願書記載のものと一致させること。異なる専攻、分野、科目等を記入した場合や未記入の場合は出願書類不備として取り扱う。
 - ②写真は、入学願書に貼付したのと同じ写真を使用すること。

(3) 証明書について

- ①証明書等は、発行後3カ月以内のものを提出すること。
- ②編入学等をしている場合は、編入学前の成績等のわかる証明書を提出すること。
- ③日本語または英語以外の言語による証明書は、原本に加え日本語訳を添付すること。

(4) 外国人出願者への注意

- ①外国人は、入学願書の国籍欄に国籍を記入すること。
- ②日本語の学力証明書は、特に決められた様式はないので証明機関で作成してもらうこと。

(5) 確認書（応用生命化学および応用生命工学専攻出願者のみ）について

原則として、第1志望の指導教員と面談し、確認書に記入してもらうこと。やむを得ない場合は、面談した他の指導教員（「教員および専門分野一覧」に記載された教員）が記入したのもでも差支えない。

3. 筆記試験

(1) 外国語（英語）試験について

本研究科では、修士課程入学試験の研究科共通の外国語試験としてTOEFL-ITP（レベル1）を採用している。TOEFL-ITPは、受験生が同一の試験場で同じ時間帯に受験するもので、Listening Comprehension: 50問、Structure and Written Expression: 40問、Reading Comprehension: 50問に分かれており、約2時間、140問のマークシート方式の試験である。なお、一部の専攻ではより専門性の高い英語能力をはかるために、専門科目の中に英語の問題を出題することがある。

(2) 筆記試験の時間、試験室等については、受験票発送時に通知する。

4. 口述試験

(1) 応用生命化学および応用生命工学専攻については、口述試験は行わない。なお、出願書類として確認書の提出が必要となる。

(2) 口述試験の時間等については、受験票発送時に通知する。

5. 合否決定について

合否は、筆記試験、口述試験、提出書類等に基づき総合的判断のうえ決定される。ただし、著しく評価の低い項目があった場合は不合格となる場合がある。

6. その他

(1) 過去問題の入手先は、別紙の案内を参照すること。

(2) 出願にあたり不明な点は、専攻問合せ先または大学院学生担当まで問い合わせること。

◇ 各専攻のお問い合わせ先 ◇

平成28(2016)年5月

専攻分野に関するお問い合わせや博士後期課程の選抜の有無については、下記へご連絡ください。

専攻	担当	連絡先等
生産・環境生物学	(教授) 石川 幸男	電話: 03(5841)1851 E-mail: aeb-chief@ab.a.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.ab.a.u-tokyo.ac.jp/aeb/
応用生命化学	(教授) 藤原 徹	電話: 03(5841)5104 E-mail: atorufu@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.bt.a.u-tokyo.ac.jp/
応用生命工学	(教授) 清水謙多郎	電話: 03(5841)5455 E-mail: shimizu@bi.a.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.bt.a.u-tokyo.ac.jp/
森林科学	(教授) 福田 健二	電話: 03(5841)5209 E-mail: fukuda@fr.a.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.fr.a.u-tokyo.ac.jp
水圏生物科学	(教授) 浅川修一	電話: 03(5841)5296 E-mail: asakawa@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.fs.a.u-tokyo.ac.jp/
農業・資源経済学	(教授) 本間正義	電話: 03(5841)5318 E-mail: ahonma@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.ec.a.u-tokyo.ac.jp/
生物・環境工学	(教授) 塩沢 晶	電話: 03(5841)5343 E-mail: asho@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.en.a.u-tokyo.ac.jp/gs/index.html
生物材料科学	(教授) 松本雄二	電話: 03(5841)8879 E-mail: amatsumo@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.fp.a.u-tokyo.ac.jp/graduate/admissions/index.html
農学国際	(教授) 岡田謙介	電話: 03(5841)0770 E-mail: akokada@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.ga.a.u-tokyo.ac.jp/
生圏システム学	(教授) 宮下 直	電話: 03(5841)7544 E-mail: tmiya@es.a.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.es.a.u-tokyo.ac.jp/
応用動物科学	(教授) 松本芳嗣	電話: 03(5841)5196 E-mail: aysmatsu@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp URL: http://www.ar.a.u-tokyo.ac.jp/pages/Japanese/J_top.html

修士志願者及び合格者数

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
生産・環境生物学	27 (1)	24 (1)	22	17	35 (1)	33 (1)	36 (1)	31	41 (1)	33 (1)
応用生命化学	85 (2)	64	77 (2)	61 (1)	82 (1)	62 (1)	90 (1)	58 (1)	88 (2)	61 (1)
応用生命工学	55 (2)	39 (1)	48 (2)	36 (1)	46 (2)	32 (1)	55 (2)	43	54 (2)	34 (1)
森林科学	26	17	21	17	27 (1)	17	19	11	15 (1)	9
水圏生物科学	42 (1)	20 (1)	32	28	33	20	46	35	39 (1)	22
農業・資源経済学	22 (1)	8	36 (1)	11	17 (3)	10 (1)	21 (2)	10	19 (2)	11
生物・環境工学	20	15	19	11	20	16	13 (2)	8	21 (1)	15 (1)
生物材料科学	26 (1)	21	31	25	28 (2)	23 (2)	18	17	29	22
農学国際	37 (2)	29 (1)	29 (1)	21	41 (2)	34 (1)	40 (2)	30 (2)	27 (5)	16 (3)
生圏システム学	29	21	26	22	14	12	20	19	20	16
応用動物科学	17 (1)	15 (1)	17	15	17 (1)	14 (1)	23	19	16 (1)	14 (1)
合計	386 (11)	273 (5)	358 (6)	264 (2)	360 (13)	273 (8)	381 (10)	281 (3)	369 (16)	253 (8)

※()は外国人学生で内数

※外国人特別選抜の人数は除く。